

松江市教育大綱

(令和 4 年度～令和 11 年度)



松江市

令和 4 年 3 月

策定の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、本市の教育理念や、それを実現するための方針、重点的な取り組みを示し、実現していくために松江市教育大綱を定めます。

大綱の期間

松江市総合計画の計画期間との整合を図るため、2022 年度（令和 4 年度）から 2029 年度（令和 11 年度）の 8 年間を計画期間とし、半期が終了する令和 7 年度末に見直しを行います。また、教育現場の状況変化に即応して適宜、必要な見直しを行うこととします。

基本理念

ドリームズ フロム まつえ
DREAMS from MATSUE
～ふるさと松江から、夢を実現し未来を切り拓く～

松江市は、宍道湖・中海・日本海と堀川、大橋川などの水に囲まれ、八雲立つ山々に抱かれた雄大で美しい自然、古代からの悠久の歴史が脈々と受け継がれる中で磨かれてきた豊かな伝統文化が息づくまちです。一方、松江発のプログラミング言語「Ruby（ルビー）」を核とした IT 産業など、ユニークな地域資源を有するとともに、地域のつながりや、ビジネスや学術、スポーツ・芸術・文化など各分野において、松江を心のふるさととして活躍されている人たちとの多くの出会いがあります。

私たちは、これらの水辺をはじめとする様々な地域資源を活かした学びや人との関わりなどを糧に、子どもたちの自ら生きる力を育むとともに、誰もが生涯を通じて共に学び、その成果を活かすことのできる環境を充実させ、ふるさと松江から（from MATSUE）、夢（DREAMS）を実現し未来を切り拓く人を育みます。そして、子どもたちが松江に育ったことを誇りに思い、どこにいても「松江が大好きだ」と思い続けてくれること、また、さまざまな形で、いずれ松江の将来を支える一員となってくれることを願っています。

本市では、「DREAMS from MATSUE（ドリームズフロムまつえ）～ふるさと松江から、夢を実現し未来を切り拓く～」を基本理念とした教育に取り組むこととします。変化の激しい予測困難な社会であるからこそ、一人一人が夢の実現に向けて自ら考え行動する力を持つとともに、皆が多様性を尊重し、お互いに個性を生かしながら、共に支え合って未来を切り拓いていかねばならないと考えています。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

■大綱の位置付けとイメージ

まちづくりの最上位計画である松江市総合計画で掲げる将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」を目指し、本大綱においては松江市の教育における基本理念を「DREAMS(ドリームズ) from(フロム) MATSUE(まつえ)～ふるさと松江から、夢を実現し未来を切り拓く～」とし、それを実現するための4つの基本方針を示しています。



I 生きる力を持った子どもたちの育成

未来を担う子どもたちは、松江市の宝です。

松江城に関する学習をはじめとする地域資源を活かした体験的な学びや多様な人々との出会いを通し、「世界の中のふるさと松江」を知り愛着を深めるとともに、夢の実現に向けて主体的に取り組み、多様性を尊重しながら、確かな学力を身に付け、たくましく生きる力を持った子どもたちを育みます。



↑松江城に関する学習

↑まつえ子ども「夢☆未来」塾

←幼稚園での活動

→宍道湖でのシジミ漁体験（ふるさと教育）

1 夢や希望、豊かな心を育む教育の推進

- ・地域の人や自然、行事などにふれあう豊かな体験を通じて、自分自身を表現する力やいろいろなことに好奇心を持ったり感動したりする「感じる心」を育てます。
- ・地元企業（事業所）のプレゼンター（起業人、IターンやUターン等を含む第一線で活躍する職業人）から仕事への情熱や苦勞、楽しみ、そしてふるさと松江への思いを聞く「まつえ子ども『夢☆未来』塾」や職場体験などを通じ、夢や目標を持ち、自己実現や自己のキャリア形成に向け主体的に考え、行動する力を育てます。
- ・「水都」松江が誇る宍道湖・中海・日本海、堀川をはじめとする地域に身近な川などの多様な水辺の環境を活かし、生き物の生態や環境、歴史や文化、スポーツや産業、食などについて考える、水に親しむ教育を積極的に支援します。
- ・松江城に関する学習をはじめ、地域独自の「もの」や「こと」、その地域に暮らす人などとの体験を通して、「ふるさと松江」に対する実感を伴った理解と愛着を育みます。

- ・起業・仕事体験プログラムを通じて、自分自身や仲間とともに松江ならではの新しいアイデアを考え、挑戦・実現していく主体性・積極性を育み、進路・職業・将来について考える機会をつくれます。
- ・プログラミング言語「Ruby（ルビー）」の聖地として全国に知られる IT のまち松江において、誰もが楽しくプログラミング的思考を養うことができるよう支援します。
- ・伝統産業や地元企業の工場見学などを通じて、松江の歴史や文化を知り、未来を考える力を養います。
- ・音楽、演劇など舞台芸術や、松江に伝わる伝統芸能の出前公演を学校や公民館で開催するなど、子どもたちが質の高い伝統文化芸術に触れ、親しむ機会、プラバホールのパイプオルガンの音色を体験できる機会などを創出します。
- ・地元出身選手や地域に密着したスポーツチーム選手による学校訪問やふれあいの機会を通して、夢や希望、ふるさとへの誇りと愛着、グローバルな視野を育みます。
- ・松江ゆかりの文豪「小泉八雲」の感性とオープンマインドの精神を子どもたちが体感し、松江や日本の文化を再発見する取り組みを行います。
- ・子どもたちが夢を持ち未来を切り拓いていくために必要な感性を育てるため、市立図書館を核として、家庭、地域、保育所・幼稚園、学校と連携し、子どもの読書活動の推進、充実に取り組みます。

2 確かな学力の育成

- ・学びの基礎力をもって小学校へ入学できるように、幼稚園と小学校を結ぶ「松江市保幼小接続カリキュラム」を実践します。
- ・ICT 機器等を活用し、個に応じたきめ細やかな指導を充実するとともに、教員の指導力向上など学力向上対策を推進し、確かな学力を育成します。
- ・家庭学習の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となって学習をサポートします。
- ・小学校高学年において教科担任制を取り入れ、より専門性の高い教育を行うことで子どもたちの興味・関心や学力を高めます。
- ・すべての市立学校に学校司書を配置し、学校における読書活動や学習活動を充実させるとともに、自らの力で課題を解決するための力を育てます。



↑ ICT 機器を活用した授業



↑ 夢授業（島根スサノオマジックとの交流）

3 ICTを活用した教育の推進

- ・1人1台のタブレット端末を活用し、作図やグラフに表す活動を通して思考を深めたり、課題についての意見を友達と共有し、新たな考えを引き出したりするなど、主体的な学びを推進します。
- ・電子黒板とタブレット端末を組み合わせ、課題を共有し、いくつかの考えを取り上げて話し合うなど、協働的な学びを通して課題を解決する力を育てます。
- ・学習履歴データの分析により、児童生徒の習熟度に応じた課題に取り組むなど個々人にとって最適な学びを通して、基礎・基本の定着や得意な教科への興味・関心を高め、個々人の能力・才能を伸ばします。

4 自分と他者を大切にする心の育成

- ・自分のよさや可能性に気づき、自分を大切にしようとする心を育みます。
- ・他者を尊重し、多様性を認め合いながら共に生きようとする心を育みます。
- ・多様化、複雑化する人権課題を踏まえ、教育活動のあらゆる場面を通じて、一人一人を大切にする人権教育を推進します。
- ・障がいのある子どもと障がいのない子どもが、共に育ち合い学び合う取り組みを進めます。

5 健やかな体づくり

- ・友達とともに楽しく全身を使って体を動かしたり、多様な動きを経験する機会を大切にします。
- ・子どもたち自らが健康への意識を高め、健康づくり、体づくりができる力を育てます。
- ・地域のプロスポーツ選手等との交流を通して、運動・スポーツに親しみ、主体的に楽しく体づくりを行う機会を創出します。
- ・乳幼児期からの電子メディア機器の適切な取り扱いや、学校・学園でのメディアルールの実践化を進めるなど、望ましい生活習慣の定着に取り組めます。



↑体操集会（幼稚園）



↑健やかな体づくり

- ・栽培活動、クッキングなど食の活動を通して「食への関心」や「食べる喜び」「食の大切さ」を豊かに感じられるようにします。
- ・安全で安心なおいしい学校給食を提供するとともに、地場産物や郷土料理を取り入れ、伝統的な食文化への理解を図るなど、学校給食における「地産地消」を進め、生産者・家庭・学校・行政が一体となって、次世代を担う子どもたちの食育を推進します。
- ・全教職員の共通理解のもと、家庭や地域と連携を図りながら、発達段階に応じた性に関する指導を推進します。

6 国際感覚を持ち社会を担っていく人材の育成

- ・生きた英語や多様な文化、価値に触れることにより、国際感覚を身に付けた人づくりを推進し、外国語によるコミュニケーション力を育みます。
- ・高等学校においては、松江市発の、グローバルな視点を持って社会を支えていく人材を育てていくため、松江市全体を学びのフィールドとした探究型学習を推進し、高校教育の魅力化に努めます。
- ・現代の諸課題について学び、社会の一員として自分で考え行動できる力を育みます。



←↑ALTとの授業



↑幼稚園での稲刈り



↑「まつえ学」の授業（皆美が丘女子高校）

Ⅱ 一人一人の育ちと学びを支える体制づくり

多様な個性・家庭環境や困難を有する子どもたちのために、教育と福祉等が連携しながら、育ちと学びのセーフティーネットを充実させ、一人一人を大切にした教育を進めます。

→松江市ふるさと奨学金



↑発達・教育相談支援センター「エスコ」の「にここ教室」

1 特別な支援が必要な子どもに対する支援体制の充実

- ・障がい等による子どもたちの生活や学習上の困難さに早期に気づき、適切な支援につなげるために、乳幼児健診や巡回相談など、教育・保健・福祉・医療等が連携した相談支援体制の充実に取り組みます。
- ・障がいのある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた指導を提供するために、通常の学級、通級による指導、特別支援学級といった連続性のある多様な学びの場の一層の充実・整備に取り組みます。併せて、インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備を進めます。
- ・読み書きに困難さを抱える子どもの指導や支援の充実に向けた研究・実践を進めます。

2 子どもたちの学びの保障の充実

- ・不登校やいじめなどの課題に対応し、切れ目のないきめ細やかな組織的な支援・指導に取り組み、子どもたちが通いたくなる魅力ある学校づくりを進めます。
- ・学校で学びたくても学べない子どもへのオンライン教育等の活用について研究を進めます。
- ・奨学金制度や就学援助等により、経済的に困窮している家庭の子ども、学生の学びを支援します。

3 困難を抱える青少年への支援

- ・困難を抱える子ども・若者に寄り添ったきめ細やかな支援を継続的に実施し、円満な社会生活及び自立を目指します。
- ・指導員と支援対象者との1対1の支援を義務教育期間中から行うことで、卒業後の繋がりを確保し、将来の引きこもり防止を助けます。
- ・青少年支援に関わる関係機関、団体で構成する「松江市青少年支援連絡会」の連携を強化し、それぞれの専門性を生かした、切れ目のない継続的な支援を行います。

Ⅲ 子どもたちの教育環境の充実

学校・家庭・地域が連携・協働し、豊かな関わり合いの中で子どもたちを育みます。また、子どもたちが安全・安心な環境で質のよい教育を受けることができる学校づくりを行います。



1 学校・家庭・地域が連携・協働した教育環境づくり

- ・小中一貫教育をベースに、学校運営協議会及び学園教育推進会議を活性化させ、地域ぐるみで子どもたちを育てる環境の充実に取り組みます。
- ・地域や小学校・保育所・幼稚園が連携し、子ども同士の交流や職員の研修を行いながら、就学前教育の質の向上と小学校へのスムーズな接続を促進します。
- ・「親楽（おやがく）プログラム」を通じ、子どもの育ちの礎である家庭教育を支援します。
- ・放課後子ども教室により学校・家庭・地域が連携して安全・安心な環境で様々な体験・交流活動の機会を提供するとともに、児童クラブの充実により、放課後児童の健全な育成を図ります。

2 安全・安心で良好な学校づくり

- ・子どもたちが安全で快適な学校生活の中で集中して学習できるよう、学校施設の計画的な改修や設備の整備を進めます。
- ・子どもたちが安全に通学できるよう、松江市通学路交通安全プログラムに基づき、道路関係部局や警察署、PTA等とも連携しながら、通学路の安全確保を推進します。
- ・学校への教職員・支援員配置を適正に行い、多様な人材がチーム力を発揮して効果的な学校運営を行っています。

3 デジタル技術を活用した教育環境の整備

- ・日常的にタブレット端末等の ICT 機器を活用した授業や教育活動ができる環境の整備を目指します。
- ・タブレット端末を自宅に持ち帰ることにより、学習ドリルソフト等を活用した家庭学習やオンライン授業などができる環境の整備を目指します。
- ・ICT 機器を効果的に活用した学習指導ができる教員の育成を図ります。

4 学校における働き方改革の推進

- ・子どもたちと向き合う教職員の心身の健康を保ち、質の高い学校教育の持続・発展につなげるため、教職員の働き方改革を推進します。
- ・ICT 環境の活用などにより校務の効率化を図るとともに、教職員のワーク・ライフ・バランスの適正化を目指します。
- ・中学校の部活動において、「持続可能な部活動」と「教員の負担軽減」の両方を実現するため、地域・関係団体と連携し検討を進めます。



←落ち葉拾い（幼稚園）

↓放課後子ども教室



↓学校へのタブレット端末整備



↑総合的な学習の時間



←小中一貫教育（桂島清掃）

IV 生涯にわたり心豊かに学び合う環境づくり

誰もがいつまでも人生を豊かに歩むために、地域のつながりを大切に、生涯を通じて共に学べる機会と学びで得た成果を活かすことのできる環境づくりを進めます。

↓パイプオルガン（総合文化センター）



↑かんべの里での機織り体験

←公民館での歴史講座

→公民館文化祭

1 生涯学習を推進する環境づくり

- ・一人一人が、生涯にわたって自らの興味・関心を具体的な行動につなげ、心豊かに仲間とともに学び合うことのできる環境の充実に取り組みます。
- ・学びを通じて、自ら地域を考え、地域を支え、次の世代を担うひとづくりに努めることにより、地域住民のつながりを深め、世代を超えた地域の活性化に取り組みます。

2 公民館を拠点とした地域を担うひとづくりの推進

- ・地域の拠点として、全ての市民にとって利用しやすい公民館となるよう環境整備を進めるとともに、公設自主運営方式を基本とした地域主体の公民館運営を推進します。
- ・地域の拠点施設である公民館において、誰もが気軽に参加できる世代間交流の場を設け、人生の先輩から学ぶ機会を拡げるとともに、地域のつながりを大切にしたいひとづくりを促進します。

3 総合文化センターを拠点とした文化振興と読書活動の推進

- ・松江市総合文化センターを文化振興の拠点施設として、市民が芸術文化に触れる機会を創出するとともに、芸術文化活動の実践の場を提供します。
- ・学びの拠点である市立図書館が、市民のすべてのライフステージに対応できる、利用しやすく、居心地の良い図書館となることを目指し、利用環境の整備を進めます。